

2008年6月23日

各 位

三井化学株式会社

## 1-ヘキセン用超高活性触媒の開発

当社(社長:藤吉建二)は、1-ヘキセン(C6)製造用の独自錯体触媒技術を開発いたしましたので、お知らせ致します。

1-ヘキセンは主としてポリエチレンを高機能化するためのモノマーとして使用され、当社関係会社プライムポリマーのコア製品である HAO-LL(※)『エボリュウ』の副原料として使用しております。

※ HAO-LL:“フィルム等製品の強度、ヒートシール性、加工性などを改良するためにモノマーをブテン(C4)からヘキセン(C6)やオクテン(C8)に変更した直鎖状低分子量ポリエチレン(L-LDPE)”

当社は、これまで蓄積したオレフィン重合触媒技術を発展させることにより、エチレンを選択的に三量化する独自の錯体触媒を開発しました。選択的エチレン三量化技術による1-ヘキセンの製造はこれまでにクロム触媒技術を使った例しかありません。今回新しく開発した触媒は、選択率が高く、クロム触媒の約600倍の極めて高い活性を示します。さらに、低温かつ低圧でも優れた活性が得られるため、シンプルかつ省エネルギー型のプロセス設計が可能となりました。この触媒技術による1-ヘキセン製造用プラント(3万トン規模)設置を、2010年頃を目途に進める予定です。

当社は、中期経営計画にて「中東等の脅威に対する国際競争力強化」を基礎化学品事業の基本戦略としており、「差別化技術による製品の高付加価値化」を具体的な取組みのひとつとしております。今回の1-ヘキセン製造用の超高活性触媒開発により、新規高付加価値エチレン製品の生産を行い、中東製品との差別化を進めると共に、千葉地区でのエチレン需要を確保することで、プロピレンを含めた最適生産体制の確立が可能となります。また、安定的に1-ヘキセンをプライムポリマーに供給することにより、プライムポリマーの『エボリュウ』事業の競争力強化にも貢献致します。

以 上

＝本件に関するお問合せ先＝

三井化学株式会社 CSR・広報部長 田中 達也 TEL:03-6253-2100